

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-516877(P2005-516877A)

【公表日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-510408(P2003-510408)

【国際特許分類】

C 0 4 B	38/00	(2006.01)
B 0 1 D	39/14	(2006.01)
B 0 1 D	39/20	(2006.01)
B 0 1 J	21/16	(2006.01)
B 0 1 J	27/224	(2006.01)
B 0 1 J	35/04	(2006.01)
C 0 1 B	33/12	(2006.01)
F 0 1 N	3/02	(2006.01)
F 0 1 N	3/28	(2006.01)
B 0 1 D	53/86	(2006.01)

【F I】

C 0 4 B	38/00	3 0 4 A
B 0 1 D	39/14	B
B 0 1 D	39/20	D
B 0 1 J	21/16	A
B 0 1 J	27/224	A
B 0 1 J	35/04	C
B 0 1 J	35/04	3 0 1 P
C 0 1 B	33/12	B
F 0 1 N	3/02	3 0 1 B
F 0 1 N	3/28	3 0 1 P
B 0 1 D	53/36	Z A B C

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月29日(2005.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

燃焼装置の排気系で使用するのに好適な剛性化されたセラミック纖維ベースの紙サブストレートであって、

耐火性セラミック纖維を含むセラミック纖維ベースの紙と、

該耐火性セラミック纖維に結合され、かつそれを互いに結合させるように配設されたセラミック粒子の集塊と、ここで、該セラミック粒子の集塊は、モンモリナイトクレーの熱分解粒子から形成された化学的安定化 - クリストバライトを含む、
を含む、紙サブストレート。

【請求項2】

モンモリナイトクレーを化学的安定化 - クリストバライトに変換するために充分な

温度において時間で該モンモリロナイトクレーを加熱することを含む、化学的安定化 - クリストバライトの製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

剛性化紙サブストレートは、ウォールフロー型サブストレートまたはフロースルー型サブストレートでありうる。剛性化紙および剛性化紙サブストレートは、70%を超える多孔度、さらには約80%~95%の範囲の多孔度を呈しうる。剛性化された紙または紙サブストレートは、好みしくは、約80%から約95%までの範囲の多孔度を呈し、かつボロシメトリー (porositymetry) により測定したとき約10から約15マイクロメートルまでの範囲の平均流量細孔直径を有する。剛性化された紙または紙サブストレートは、5重量%未満、より望ましくは2重量%未満、さらに望ましくは1重量%未満の低いガラス含有率(典型的にはガラス粒子)を有することが望ましいであろう。剛性化紙サブストレートは、2重量%未満、より望ましくは0.5重量%未満の低いアルカリ金属含有率を有することが望ましいこともある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0135

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0135】

10gのゾルLおよび85gの分散体Iを迅速攪拌しながら混合し、約3分間ソニケートすることにより、ゾルMを調製した。次に、5.0gのUF5-SiC粉末を迅速攪拌しながら添加し、さらに3分間ソニケートすることにより、ゾルMを形成した。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0160

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0160】

効率およびすす保持方法に従って、完成セラミック纖維フィルターを試験した。その結果、20kPaの圧力低下では、効率は99.4%であり、すす保持量は11.0グラムであることがわかった。40kPaの低下圧力では、効率は96.1%であり、すす保持量は34.0gだった。